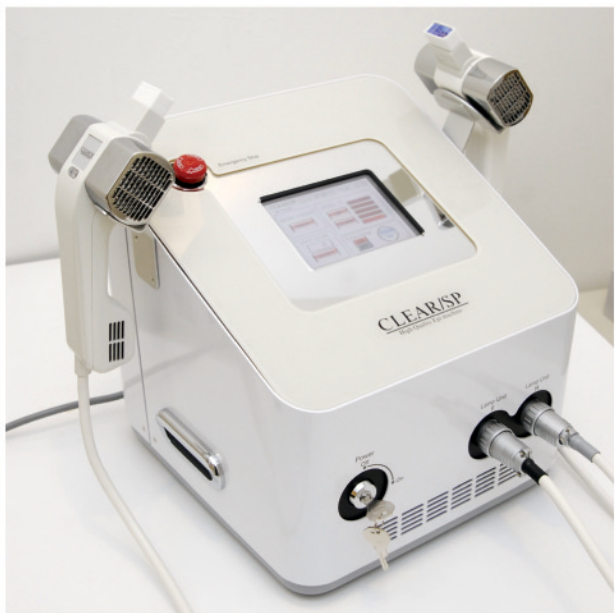


# 安全で尚且つ脱毛効果もあると 証明された脱毛機 CLEAR/SP



肌には優しく、もちろん脱毛効果も得られる。  
CLEAR/SPはそれを可能にしましたね。

まず驚いたのは、痛みがほとんどないという事。脱毛は未だ「痛い」とか「トラブルと隣合わせ」といったイメージが残っていますが、CLEAR/SPならその点は心配いらないですね。今回行った臨床実験を通してCLEAR/SPでの脱毛は医療行為にはならない、と証明されたわけですからとても素晴らしい脱毛機だと思います。



【医療法人相生会】常任理事 医学博士 坂田之訓  
昭和56年 九州大学医学部医学科卒業後、内科、外科、麻酔科、皮膚科、形成外科、等を修得。東京、大塚美容外科を経て更に、全国的に展開のコムロ美容外科、共立美容外科、城本クリニックなどにて、重要な手術や治療を担当して現在に至る。

臨床実験を通して安全性を実証。毛乳頭を破壊しない脱毛です。

## クリアSP美容器の制毛処理後の報告書

■はじめに  
今回、我々は、脱毛に関し日本国内の女性において、大きな需要があると認識している。  
脱毛の方法としては、毛抜き、ワックス脱毛、電気脱毛、レーザー脱毛が用いられている。  
脱毛は、もともとエステティックサロンで普及していたが、医療機械の普及で医療機関ではレーザー脱毛を導入し脱毛市場に参加活動をしている。  
又、近年レーザー機器を用いたエステティックサロンも普及しているが、平成13年の厚生労働省の通達によって毛乳頭及び毛包開口部を破壊する行為は医療行為とされている。  
そのような中、海外で医療機器として使われていた装置を日本に輸入して使用したエステティックサロン業者が、お客に熟傷をきたし、医師法違反の疑いで逮捕、起訴されているケースも確認されている。

■対処と方法  
弊社は、新開発した美容機器(クリアSP)の制毛処理における臨床的、組織学的検討を専門の機関に依頼しその結果を報告する。

詳しい論文については、未だ作成中であり、現在までの臨床的報告をいたします。

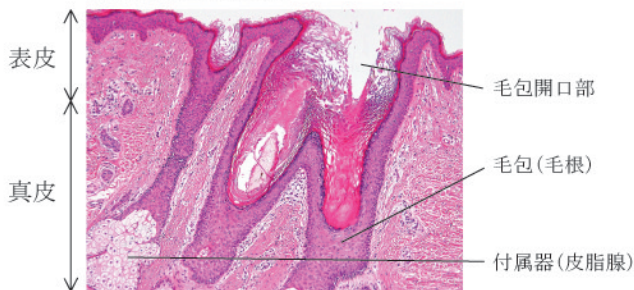
- (1) 臨床的な観察  
対象者2名(部位16箇所)において照射直後、照射翌日、照射一ヵ月後に疼痛、紅斑を含め、副作用を認めた例は美容装置クリアSPにはなかった。
- (2) 組織学的所見  
組織学的検討を行った2名のすべての部位において表皮、毛包を含めた真皮に変化は見られず、毛乳頭、皮脂腺開口部の障害所見も見られなかった。(図1~4)

クリアSPを用いた制毛処理における臨床的、組織学的検討

依頼先 【医療法人相生会】  
常任理事 医学博士 坂田 之訓

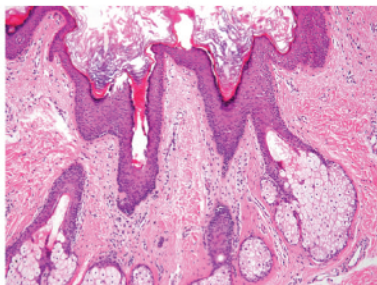
監修 【福岡大学筑紫病院】  
臨床病理学教室 教授 岩下 明徳

## ●照射前の組織像



正常の表皮、毛包開口部、および真皮の皮膚付属器を示す

## ●照射後の組織化学変化像



皮脂腺周囲および皮脂腺開口部の毛包構造も正常に保たれる